

カムレバーロック式 水道用急速空気弁

カマンエアφ75

A75-268型シリーズ

分解組立要領書

本要領書は、協和工業株式会社製「カムレバーロック式水道用急速空気弁 カマンエア A75 - 268型シリーズ」の分解組立及びマルチリング組込要領書です。他社製品及び他製品には適合しません。

ご不明な点があれば当社営業にお問い合わせ下さい。

本要領書は、詳細を掲載する為に設置現場では無く机上で作業しています。製品を設置箇所から外さないで下さい。

協和工業株式会社

〒527-0125 滋賀県東近江市小田苅町 1790 番地
TEL 0749-45-0561 FAX 0749-45-2393

注意

分解組立時は必ず「補修弁」で止水してから行って下さい。

分解時外した部品類は、汚れない様に保管して下さい。「カバー」内に入れる事をお勧めします。



A75-268型

※カバー上面には注意事項が記載されていますので、必ず読んで下さい。

①



製品側面にある「作動チェック弁」を外します。

注意：内圧を抜き安全を確保する為に「作動チェックバルブ」を外します。

②



「作動チェック弁」は外しきってください。

③



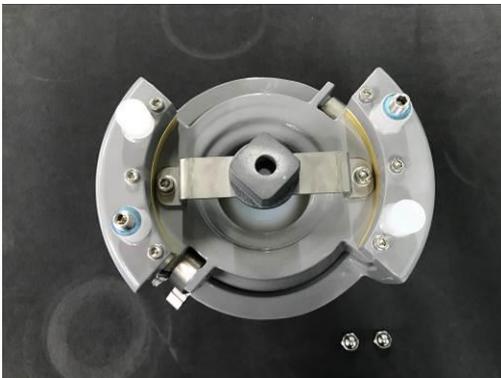
上部の「袋ナット」を2個とも外します。

④

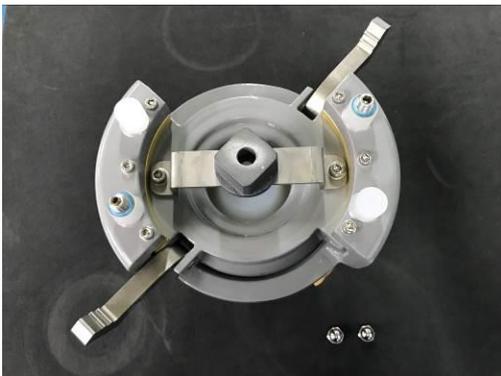


「カバー」を外します。

⑤



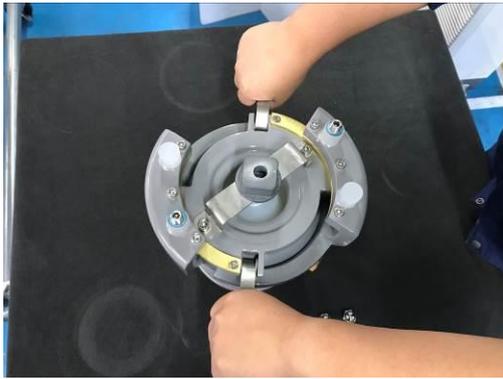
⑥



「カムレバー」を上方向に緩めます。

注意：作業性が悪い場合片手で片方ずつ行って下さい。

⑦



「弁ふた」を反時計方向に回します。
注意：90度の回転ロック構造にしています。

⑧



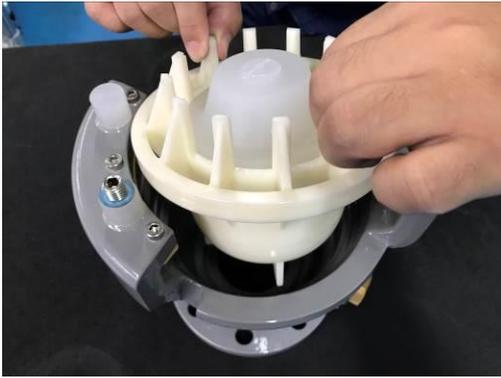
回らなくなったら、上方向に抜きます。
注意 「弁ふた」を外す時は傷が付かない様に注意して下さい。

⑨



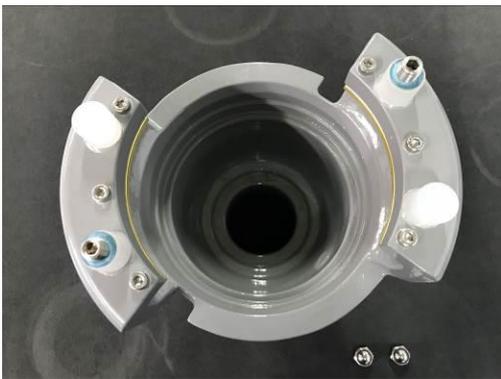
「Oリング」を外して下さい。
注意：「Oリング」が損傷している場合や、劣化、著しい変形がしている場合は、速やかに交換して下さい。漏水の原因になります。

⑩



「案内」を外して下さい。

⑪



⑫



⑬



「案内」に収まっている「遊動弁体」「フロート」を出します。

組立は、分解手順⑱より逆の手順で作業して下さい。

以下に組立時の注意事項のみ記します。

※

「案内」の中には「フロート」、次に「遊動弁体」の順序で入れて下さい。



注意:「フロート」「遊動弁体」は上下を間違えないで下さい(漏水の原因になります)。

⑨



「Oリング」を挿入して下さい。

注意:「Oリング」が損傷している場合や、劣化、著しい変形がしている場合は、速やかに交換して下さい。漏水の原因になります。

⑦



「弁ふた」を挿入して下さい。

注意:「弁ふた」を挿入する時は傷が付かない様に注意して下さい。

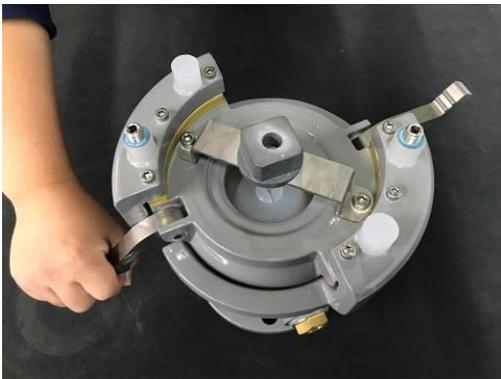


「弁ふた」を時計方向に回します。(約 90 度)
回転が止まる所まで十分に押し当てて下さい。

重要

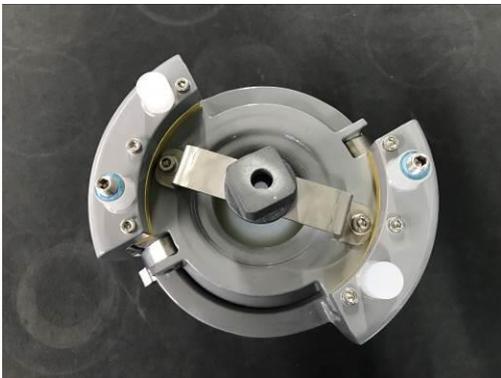
弁ふたは 90 度の回転ロック構造にしています。

⑥



レバーは、止まる所まで十分に押し下げて下さい。

注意：作業性が悪い場合片手で片方ずつ行って下さい



③



カバーをして袋ナットを締結して下さい。

②



「作動チェック弁」を取り付けて下さい。

注意：閉めすぎによる損傷も有りますので適度な操作力で止水して下さい。

弱い時は、漏水の原因になります。

組立完了



補修弁開時に水が止まりにくい場合には

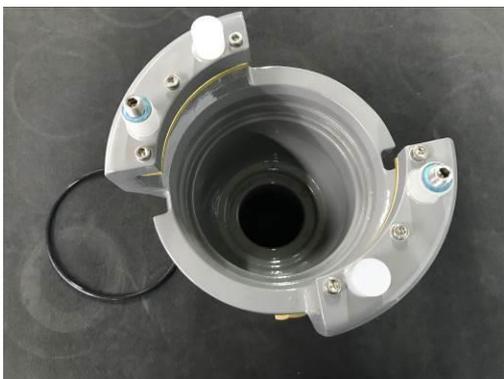
空気弁設置時や空気弁組み立て完了時、補修弁レバーを開く際に空気弁からの水が止まりにくい場合が御座います。そのような場合は、補修弁を中開度で開き空気弁内に水を充水したのち、一旦補修弁を閉め数秒後に補修弁を再度開けて下さい。(空気弁内のフロートがスムーズに上がります)

マルチリング町野口金の装着方法

注意：分解手順で内部部品を全て取り除きます。

(分解時と同様に補修弁で止水してから行って下さい)

①

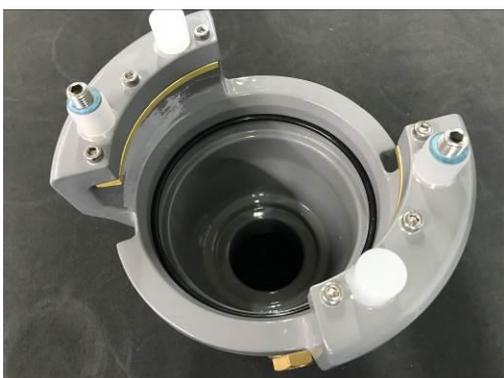


分解し、内部部品を全て取り出します。

②



「Oリング」を乗せる段
(上側の約2ミリほどの段)



分解時に取り外した「Oリング」
を再び弁箱内にある段の上側に
よれないようにはめ込みます。

③



「マルチリング町野口金」を挿入します。

④



「マルチリング町野口金」を時計方向に回します。(約90度)

マルチリングのツバが吹き飛び防止プレートと位置に合わせて下さい

重要

「マルチリング町野口金」は、90度の回転ロック構造にしています。

⑤



カムレバーを押し下げます。

注意：作業性が悪い場合片手で片方ずつ行って下さい

⑥



「作動チェック弁」を取り付けます。

注意：閉めすぎによる損傷も有りますので適度な操作力で止水して下さい。



装 着 完 了